

なえば たまもの 「苗場の賜物」

— The gift of Mt.Naeba —

私たちの「めざせ！苗場山麓ジオパーク」には、毎年3～4 mの積雪があります。

この雪によってもたらされる豊富な湧き水から枝葉を伸ばし、苗場山の火山活動、そして冷たい風が吹き出す風穴などが、この地域の自然環境や歴史、私たちの生活に密接に関係していることをご紹介します。

大地に積もった雪は、春になると解けて地面に浸みこみます。これが落葉広葉樹の森に蓄えられ植物や動物を育みます。

そして、およそ40年かけ、苗場山の溶岩の層を通り、その下の層との境から湧き出すのです。それゆえ苗場山麓には龍ヶ窪をはじめとする数多くの湧水が点在しています。

この湧水によって、私たちの基層文化である縄文時代が花開きます。

私たちの地域の河岸段丘では、氷河期であった3万年前の旧石器時代や縄文時代の遺跡が多く発見され、火焰型土器をはじめとする貴重な資料が出土し、それに関わる調査研究が進められてきました。



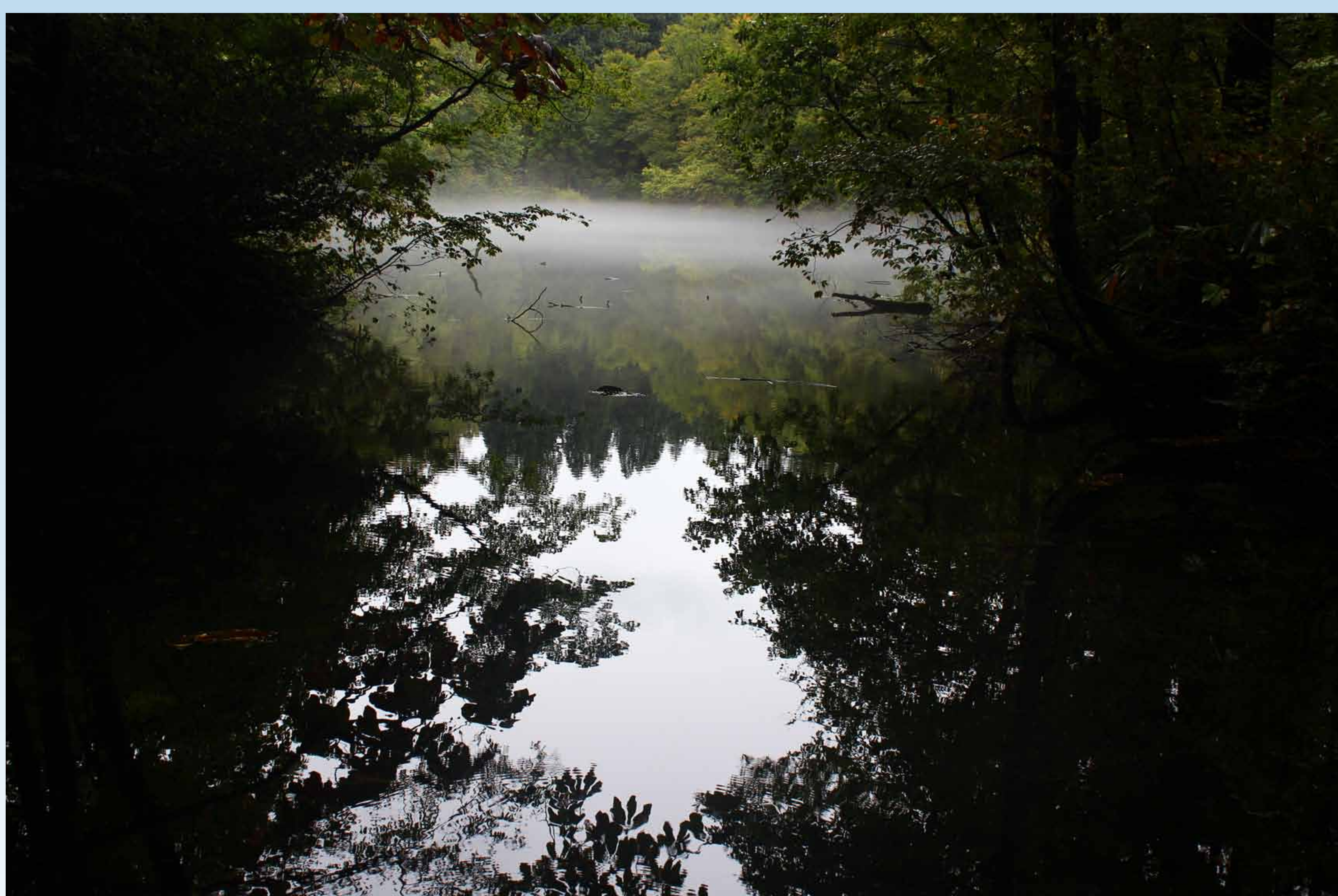
雪の河岸段丘



苗場山と小赤沢集落



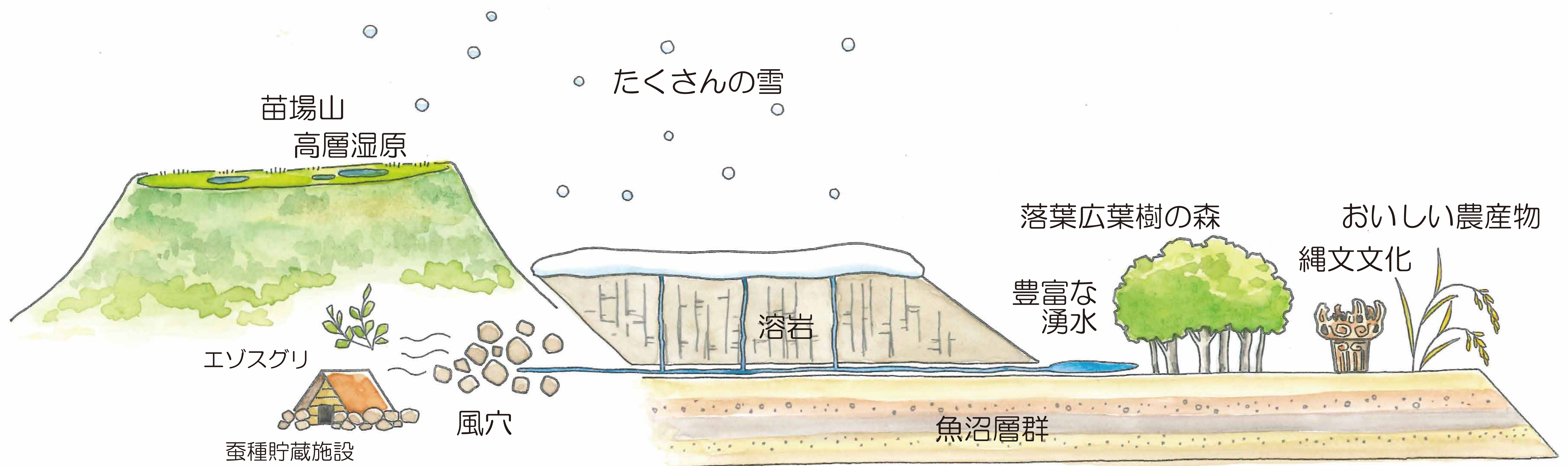
苗場溶岩の柱状節理が見事な石落とし



苗場溶岩の末端から湧く龍ヶ窪



龍ヶ窪付近の沖ノ原遺跡から出土した火焰型土器（新潟県指定文化財）



苗場の賜物イメージ図

大地の恵み ー湧水と風穴ー

苗場山麓には、たくさんの雪が降り積もります。その雪が解けて大地に浸み込むことで豊富な湧水となります。その湧水を活用し魚沼産コシヒカリに代表される農産物がつくられています。そして、冬も温度が7～8度と一定である湧水は、たくさんの雪の消雪にも利用されています。

この他、夏でもおよそ1～3度の冷たい風が吹き出す風穴も私たちの地域には点在しています。苗場山や鳥甲山、山伏山の溶岩が崩れ、ガレ場を形成し、その隙間に地下水が流れていたり、氷が作られたりして、冷たい風が吹き出すと考えられます。この涼しさから風穴周辺には寒冷地や高山地に生育する貴重な植物が繁茂しています。集落では、風穴を冷蔵庫代わりとして利用したり、養蚕の蚕種を貯蔵する施設が作られたりした歴史があります。



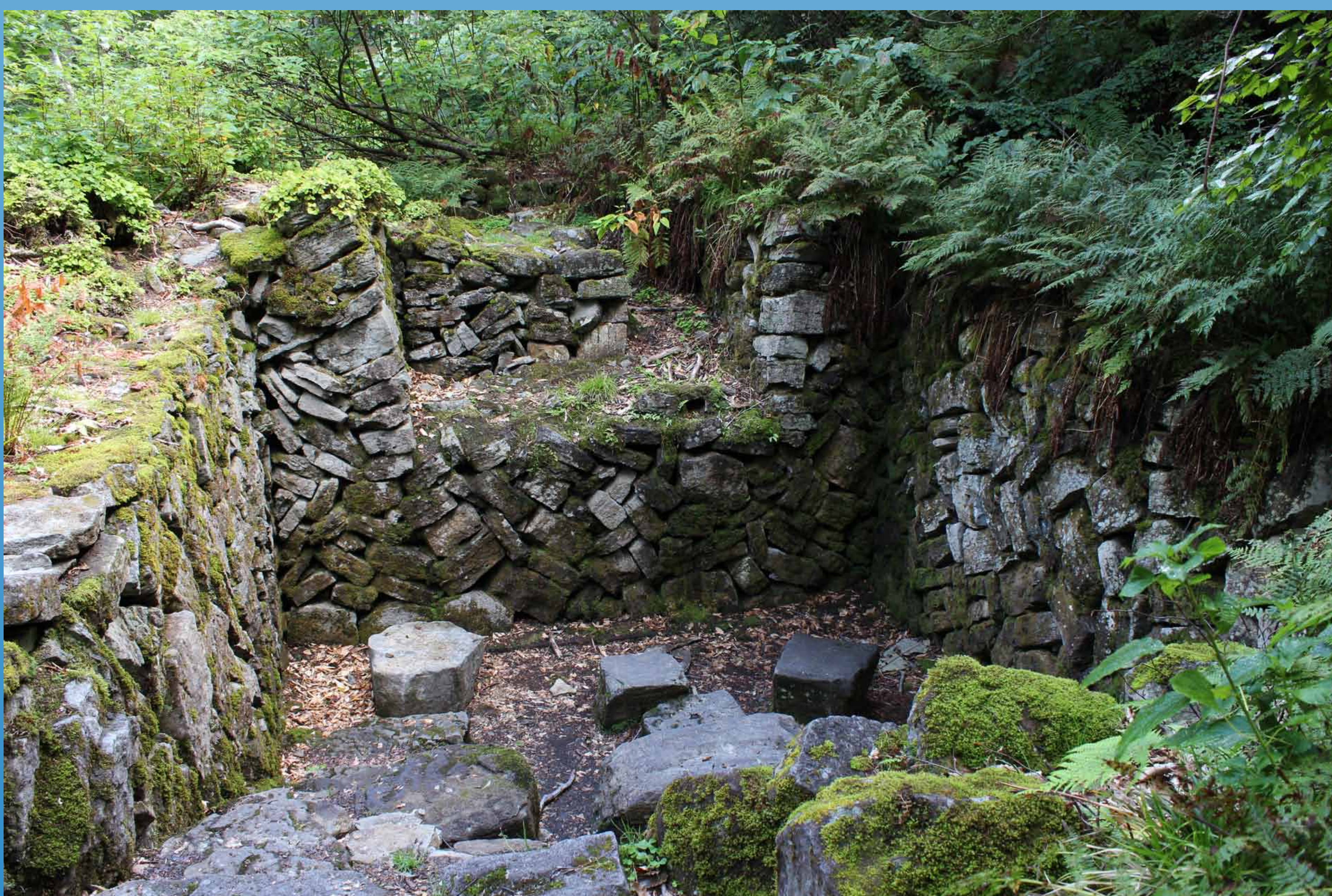
崩落した苗場溶岩で築かれた石垣田の魚沼産コシヒカリ



結東の風穴



風穴周辺のにに生育するエゾスグリ



蚕種の貯蔵に利用された山伏山の風穴

このように、私たちは「雪」と「苗場山の溶岩層」の恩恵をうけ、3万年にわたる歴史を紡いできました。

つまり、私たちの生活は雪や苗場山と深いかわりを持ち、まさしく、「苗場山麓ジオパーク」は「苗場の賜物」で形成されているのです。

めざせ！苗場山麓ジオパーク振興協議会